

北海道山紀行・2015

● 6月12日（金） 出発・新潟からフェリーで

○ 昨夜は例年のごとく榛名を出発して新潟を目指しひたすら関越道を北上してきた。

途中何回か休憩をとり、黒崎SAで仮眠をとった。黒崎SAを4時半に出発した時はもう夜はすっかり明けており、新潟亀田ICを5時過ぎに下りて新潟港へ向かった。もうここは通い慣れた道である。途中のセブンイレブンで食料を調達しながら新潟港へ無事到着した。埠頭にはまだフェリーが到着しておらず、5時半過ぎに姿を見せた。毎年この新潟港からフェリーに乗って北海道へ行っているが、入港から接岸まで一部始終を見せてもらったのは初めてだ。近くで見るとデカイ船だな！昨日の朝小樽港を出て丸一日近くかけて無事新潟港へ到着したわけで、これから乗せてきた車や荷物を下ろして、船内清掃、燃料の積み込みなどの出港の準備をして、我々の車や荷物を積み込んで小樽へとんぼ返りで10時半には出港する。一年中この繰り返しで、良く動いているものだ。

・さて港はというと、今日はガラガラ。私がいちばん先頭に並んだが後にだれも並ばない。しばらくしてやっと2台が後につき、今日はこの3台だけ？ 例年のように自衛隊の乗る気配もないし、寂しい船旅になりそうだ。乗船手続きが7時からの予定が、今日は8時からだと云う。要するに乗船する人があまりいないと云うことなのだろう。

・レストランで朝食（トーストセット）を摂り、乗船までの待ち時間に、今回初めて導入したレンタル Wifi の試運転をしてパソコンメールが順調に繋がることを確認。今年パソコンメールが自由に使えるぞ！

・9時50分に乗船開始。私がいちばん先頭で乗船。今日乗船する車はざっと見て30台くらいかな。こんなに少ないのは初めてだな。



今日乗る船が入港してきた。デカイな！



先頭に並んだ



Wifi の試運転 OK

・今回の部屋はステートBツイン 447号室、2人部屋個室を一人で使わせていただく、ベリーグッド！ 早速風呂へ直行したがここも人がいなくてガラガラで拍子抜けだ。のんびりと風呂に入ってからデッキへ出た時はもう船は岸壁を離れ新潟港を後に航跡を残して出港していた。



贅沢！ ツインの部屋に一人

例年通りデッキでサッポロクラシックを飲みながら徐々に遠くなって行く新潟の街をながめながら、これから待っている北海道の山々に思いを馳せた。



・部屋に戻って良い気持ちでひと眠り。12時前、「レストランの準備が出来ました。どうぞ」のアナウンスで目が覚めた。窓から太陽の日差しが差し込んできて眩しい。今朝セブンイレブンで買ってきた焼そばとビールで昼食を済ませたあと、何もすることないのでブラブラとして時間を潰した。船内は殆ど人がいなくてガラガラ、なんとなくさびしい。やっぱりロビーに大勢いてビールを飲みながらガヤガヤ騒いでいる光景の方が良いな。

・なんとなく疲れを感じてだるい。食欲もあまりないので夕食はレストランで肉じゃがに生ビールで済ませ8時半にベッドに横になり早々と寝てしまった。とにかく爆睡した。

● 6月13日（土）

小樽・積丹岳（1255.2m）

・3時に目が覚めた。

昨夜は一時かなり揺れていたが、今はすっかりおさまって地上にいるように全く揺れを感じない。外はまだ真っ暗だ。窓から右舷に町の灯が点々と見えてきた。そろそろ小樽に近づいたな。天気も良さそうだ。



毎年感動の小樽港入港

・定刻通り4時半に下船が始まり、我が車がイの一番に小樽港の地に下り立った。例年通りまずフェリーターミナルへ行き朝の用事を済ませた。ここも殆ど人がいなくて実に寂しターミナルだ。乗船客が下船してくるはずが誰もいない。どこへ行ったのだろうか？

・今日の小樽の天気予報は雨となっていたが、予報に反して所々に青空が見え薄日も差している。これなら予定通り積丹岳に登れるぞ！ 期待を抱いて積丹半島に向けて5時に出発した。朝早くて人気のない余市の市街をぬけ、昨年朋子と食事をした古平の寿司屋の前を通過して国道 229 号線をしばらく走り「積丹岳登山口」の道標をみつけてそれを左折。ここからはまだ所々に雪を付けた積丹岳がきれいな容姿を見せ付けて「早く登りに来なさい」と呼びかけているようだ。



・砂利道の急坂をしばらく走ると行きどまり、ここが登山口で立派な避難小屋が建っている。小屋のまわりには車が 10 台位止まれる広場があり、まだ早朝6時だと云うのに車が満杯。やっとなんとかスペースを見つけて駐車した。そんなに人気のある山なのか?! と思ったら皆さん「根曲がり竹のタケノコ」をとりに来ている人達で、今タケノコ採りの最盛期だそうだ。



・小屋の脇に登山道の入口がある。薄暗い小屋の中に置いてある「入山届け」に記載して6時半に登り始めた。



・雨予報に反して薄日も 射す中、北海道らしい、林の中の草付きの緩斜面をだらだと登ってゆき3合目を過ぎ5合目まで約1時間。

・北海道の山にはなんでこんなに花が豊富なのだろうか？

いろいろなスミレが咲き、エゾイチゲが群生して咲いているし、ツバメオモト、サンカヨウがそこいら中に咲きシラネアオイやミズバショウさらにはカタクリまで咲いている。



エゾイチゲの群落



ツバメオモト

・道の両側は根曲がり竹が密生していて、タケノコ採りの人がいっぱい、みんな熊よけのためか位置確認のためか、ブザーをブーブー鳴らしてうるさくてたまらない。5合目を過ぎるとさすがにここまで登って採りにくる人も少なく静かになった。

・6月の北海道の山は蚊やブヨの大群がいるが、ここもご多聞に洩れず、ブヨの襲撃を受けた。防虫ネットで武装して登ったが立ち止まると容赦なくネットのうえから攻撃してくる。

道端に咲く花を楽しみながら静かな道をルンルン気分で6合目まで登ってきたらなんとなく雲行きが怪しくなりポツポツと降ってきた。天気予報通りだな！

・登るにつれてだんだん雨が強くなり7合目でとうとう本降りとなった。木陰で雨具を付けしばらく様子を見たが、雨の弱まる気配は全く無い。今の時刻は8時半。残念だがこの雨では登ることを断念せざるをえない。

7合目を写真に収めて引き返した。

・10時過ぎに登山口の小屋へたどり着いた時はびしょ濡れで泥だらけ。小屋の前の水道で雨具や靴の泥を洗い車に乗り込んだ。タケノコ採りはこの雨の中でもやっているらしく、まだ車がいっぱい止まっている。とにかく今日の宿泊予定地のニセコへ向けて出発した。

・南下するに従って小雨になり薄日がさすこともあったが、気温が低く寒いのでヒーターをガンガン焚いてニセコを目指した。ニセコではまず「綺羅の湯」へ飛び込んでゆっくりと体を温め、昨日からの疲れをいやした。やっぱり「綺羅の湯」はいい！

・今日の宿泊地、道の駅「ニセコビュープラザ」は人気がある道の駅、今日も車が一杯だ。毎年止める定位置に車を止め落ち着いた。天気は曇り／小雨で気温が15℃とかなり寒い。濡れた衣類を乾かすことも兼ねて車のヒーターを28℃にして温まった。外は霧雨で気温が低く外に出られずやることもない。まだ4時過ぎだと云うのに運転席でビールを飲み夕食をとり始め6時前には出来あがり横になった。明日は天候が回復するらしい。ニセコアンヌプリに登れるかな？



雨の流れる 7合目

<付記>

・今年の北海道紀行はちょっとおかしい。

フェリーはガラガラで寂しかったし、積丹岳は途中から大雨になりずぶ濡れで引き返すし、ニセコの道の駅は冷たい雨で寒くてヒーターを焚いた車の中で夜を過ごすし、初日から調子が悪くいやな予感のするスタートとなった。

・今日の積丹岳では、雨の中の下りで雪渓をトラバースした時足を滑らし必死で止まったが、止まってしばらくの間息が苦しくて、心臓が苦しくなり全く動けなくなった。このまま死ぬのではないかと思うほどだった。最近どうも肺と心臓に自信が無くなり、今後大丈夫だろうか心配になった。

・今日の積丹岳は入山記録に私を含めて3人だった。一人は私より先に入山し途中で会わなかったので山頂まで行ったのだろう。もう一人は私が下山中に大雨の中登ってゆくのにすれ違った。

ただタケノコ採りの人達は雨が降っていると云うのに大勢入山していた。

・道の駅「ニセコニュープラザ」

周りには車がいっぱい止まっているが、キャンピングカーがなんでこんなに多いんだ！

ざっと見ただけで10台以上止まっている。最近の北海道はとにかくキャンピングカーが多くなった。

10年前に私がこの北海道山紀行を始めたころ、キャンピングカーなんてほとんど見られなかった。

みんなセダンやワンボックスカーに工夫を凝らして改造して走っていた。あのころが懐かしいな！